

EUデータ保護規則(GDPR)を契機に再考する 情報ガバナンスと漏えい対策のあり方 ～施行まであとわずか、今できること、やるべきこと～



クラウドやモバイルの活用、IoTなどの新技術により、ビジネスの柔軟性・拡張性は向上しています。同時に、取り扱われるデータの量や利用場所、方法は増加・複雑化し、個人情報を始めとする重要データの管理がよりいっそう重要視されています。

GDPRをはじめ、各国・地域のプライバシー規制は厳格化の方向にあり、個人データのセキュアな取り扱いの強化が求められています。それだけではなく、企業の製造情報や原価情報などの機密情報も含め、あらゆるデータを網羅的に管理する情報ガバナンスの進化が求められています。

本セミナーでは、施行開始まで1年をきったGDPRを契機に、その現状や企業の対策状況、最新の情報漏えい対策ソリューションをご紹介します。情報ガバナンスを総合的に再考するきっかけをご提案します。機密情報のライフサイクルを適切に構築、運用することで、将来的な各国・地域法制度の厳格化、取引先などから求められるセキュリティ要件の高度化といった環境変化にも柔軟に対応することができるようになります。情報ガバナンスのあるべき姿をいま一度検討する上でのお役にたてれば幸いです。

開催概要

- 日 時: 2017年7月20日(木) 14:30～17:00(14:00受付開始)
- 場 所: PwCコンサルティング合同会社 セミナールーム
東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング21F(裏面参照)
- 主 催: 株式会社シマンテック、PwCコンサルティング合同会社
- 対 象: 情報セキュリティ部、コンプライアンス部、経営企画部、
リスク管理部などのご担当者
※同業者の方からのお申し込みはお断りする場合がございます。
- 定 員 数: 50名
※なお、お申し込み多数の場合には、抽選とさせていただきます。
- 参 加 費: 無料(事前登録制)
- お申し込み: 下記ウェブサイトよりお申し込みをお願いします。
<http://www.pwc.com/jp/seminar10>
- お問い合わせ: PwCコンサルティング合同会社
セミナー事務局 担当: 白川・堀内
Email: pwc.jp.marketing@jp.pwc.com

■個人情報の取り扱いについて

お申し込みの際にご記入いただきました個人情報(氏名、会社名、部署名、役職、メールアドレス、電話番号等)については、共同利用者である株式会社シマンテックおよびPwCコンサルティング合同会社からのご案内(イベント、セミナー、キャンペーン、製品・サービス情報の紹介)に使用させていただきます。これらの情報につきましては厳重な管理の下で保管させていただき、株式会社シマンテックおよびPwCコンサルティング合同会社以外の第三者に開示することはありません。個人情報の取り扱いについては、各社のウェブサイトをご覧ください。

・株式会社シマンテック プライバシーの保護について <https://www.symantec.com/ja/jp/privacy>

・PwCコンサルティング合同会社 個人情報保護方針 <http://www.pwc.com/jp/ja/japan-privacy/consulting.html>

プログラム

時間	セッションタイトル	講演者
13:30-14:30	開場／受付開始	
14:30-14:35	ご挨拶	PwCコンサルティング合同会社 パートナー 山本 直樹
14:35-15:00	【Session 1】 グローバル企業のGDPR対応	PwCコンサルティング合同会社 マネージャー 門脇 一史
15:00-15:35	【Session 2】 EU一般データ保護規則対応の実務	TMI総合法律事務所 パートナー弁護士 大井 哲也氏
15:35-15:45	休憩	
15:45-16:10	【Session 3】 ビッグデータ活用におけるプライバシー情報の 取り扱いのポイント	PwCコンサルティング合同会社 シニアマネージャー 勝山 公雄 シニアマネージャー 高橋 功
16:10-16:45	【Session 4】 今、再考すべき情報ガバナンスと漏えい対策 ～オンプレミスからモバイル・クラウドまで～	株式会社シマンテック セキュリティエバンジェリスト 高岡 隆佳
16:45-17:00	事前質問への回答 (事前に受け付けたご質問に対して、各講演者が 回答いたします)	各講演者

会場のご案内

PwCコンサルティング合同会社 セミナールーム
東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング21F

- ・ JR、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」より徒歩5分

